

第 16 回 膝 OA と運動装具療法セミナー プログラム・抄録

【開催概要】

セミナー名 : 第 16 回膝 OA と運動・装具療法セミナー
大会長 : 緒方 徹 (東京大学医学部附属病院 リハビリテーション科 准教授)
テーマ : 変形性膝関節症の理学療法
会期 : 2022 年 1 月 28 日 (金) 19:00-21:00
参加者 : 150 名程度
会場 : WEB 開催 ライブ配信

【プログラム】

座長 緒方 徹 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション科 准教授
千田益生 岡山大学病院総合リハビリテーション部 教授

講演 1 変形性膝関節症の手術と理学療法
乾 洋 東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科 講師

講演 2 人工膝関節置換術後のリハビリテーションの実践
中平 有 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部 理学療法士
(休憩)

講演 3 変形性膝関節症の保存的治療
池内昌彦 高知大学医学部附属病院 整形外科 教授

講演 4 変形性膝関節症の保存治療におけるリハビリテーションの実践
小田翔太 高知大学医学部附属病院リハビリテーション部 主任理学療法士

総合討論

【講演 抄録】

講演 1 変形性膝関節症の手術と理学療法**乾 洋 (東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科 講師)**

人工膝関節手術は除痛効果、長期耐用等多くの点で成功をおさめた手術ではあるが、残念ながらその術後成績、満足度が必ずしも高くはないことも指摘されている。近年術後に「生理的な（生来の）膝関節の動き」を獲得することで手術成績が向上することが明らかとなり、人工膝関節手術に求められるインプラント形状や下肢アライメントの考え方が変わりつつある。本講演では当院での現在の人工膝関節手術の実際を報告させていただくとともに、良好な手術成績に求められる理学療法に関しても考察させていただく。

講演 2 人工膝関節置換術後のリハビリテーションの実践**中平 有 (東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部 理学療法士)**

人工膝関節置換術は、インプラントの改良、手術手技の進歩により非常に良好な経過を辿るようになり、それに伴い術後理学療法の果たす役割も変化している。今回は、運動機能と日常生活動作の早期改善のために、周術期の疼痛や関節可動域、筋力の改善過程で生じる extension lag などの問題点に対する運動療法の実践、歩容改善に向けた動作指導の実践について紹介し、最大屈曲可動域の獲得時期と満足度の関係についても触れたい。

講演 3 変形性膝関節症の保存的治療 ～痛みへのアプローチ～**池内昌彦 (高知大学医学部附属病院 整形外科 教授)**

膝 OA 患者の主訴である痛みの発生機序として、荷重や関節運動に伴って生じる物理的刺激（生体力学的因子）、炎症性メディエーターや発痛物質などの化学的刺激（生化学的因子）の 2 つが古くから知られている。さらに近年では、疼痛を伝達する神経系の構造的・機能的変化が痛みを慢性化させていることが明らかになってきた。本講演では膝 OA 患者の痛みの評価とともに疼痛発生機序に基づく治療について概説する。

講演 4 変形性膝関節症の保存治療におけるリハビリテーションの実践**小田翔太 (高知大学医学部附属病院リハビリテーション部 主任理学療法士)**

変形性膝関節症患者に対するリハビリテーションの第一選択は運動療法である。運動療法の効果は、筋力・持久力の向上、痛みの減少、柔軟性の改善などが挙げられ、国内外のガイドラインにおいて強く推奨されている。本講演ではその中でも、患者の日常生活動作能力の低下に深く関与する大腿四頭筋筋力低下と、膝の痛みについて運動療法の注意点や痛み軽減のメカニズムについて整理しつつ、実際のリハビリテーションを紹介する。

以上